

令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：24004

学校名：大谷地小学校

	令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果	分析
体力・運動能力 <男子>	○前回の記録と同程度もしくは上回った種目 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、 立ち幅跳び ○前回の記録より下回った種目 20mシャトルラン、50m走、ソフトボール投げ	中休みのグラウンド遊びを推奨しており、外遊びが活発なことから、運動が好きだと回答する児童が多い。前回の記録と同程度もしくは上回った種目が多く、成果が見られる。一方、持久力やボール投げに課題がある。体育の準備運動で持久力を高める運動を取り入れたたり、休み時間のボール遊びを男女共に推奨したりする取り組みを、全校体制で行っていく必要がある。
体力・運動能力 <女子>	○前回の記録と同程度もしくは上回った種目 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、 20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び ○前回の記録より下回った種目 ソフトボール投げ	
運動・スポーツへの意識、 運動習慣	・「体育の授業は楽しい、やや楽しい」と回答する子どもの割合 (全国)男子:94.6% 女子:90.8% (本校)男子:97.0% 女子:97.6% ・「1日(平日)に3時間以上テレビやゲーム機、スマートフォン等の画面を見ている」と回答した子どもの割合 (全国)男子:42.7% 女子:37.4% (本校)男子:52.9% 女子:51.2%	

三つの取組

①体育・保健体育等の授業の充実

②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組

③子どもが自ら健康の保持増進を図る取組

具体的な取組

- ・自分で決めて取り組む活動を取り入れる。
- ・友達と取り組む活動を取り入れる。
- ・どの子ども運動に楽しさや喜びを実感できる授業に向けての研修を定期的に行う。
- ・体育の学習で、「縄跳び」や「3分走」など、持久力を高める運動を取り入れる。
- ・日常的に運動を意識することができる校内掲示と環境の整備を図る。
- ・小学校低・中・高、小中連携の一環で取組の交流をし、成果と課題を見出し、指導の連続性を図る。

- ・休み時間の「外遊び推奨」を全校で行い、休み時間には外に出て、体を動かす時間をつくっている。体を動かしたくなる環境を整える。教室掲示で「外遊びの重要性」についても呼びかける。(各学級や異学年での自治的な活動)
- ・スポーツ委員会の子どもたちと協力し、遊びのレポーターを紹介したり、集会を企画したりする。(児童委員会による自治的な活動)
- ・「校内ランキング」を掲示し、各学年の上位記録者が分かるようにしている。
- ・休み時間も教具を使った遊びができる習慣を設定する。

- ・「休み時間は、外で元気に遊ぶ」を原則。また、雪像づくり、尻滑り、雪合戦など、札幌らしい特色ある冬活動を充実していく。
- ・運動領域と保健指導及び教科等横断的な視点での関連付けを行い、カリキュラムを推進していく。
- ・保健、食育の年間計画の充実。
 - ① 養護教諭、栄養教諭と協力して授業作りを行う。
 - ② ころ・からだ・いのちの指導など、外部人材を活用する。

家庭・地域との連携・協働

- 学校評価委員会・学校関係者評価等の活用

